

質問  
QUESTION回答  
ANSWERいわた じょうじ  
岩田 譲治

## 教員の働き方改革を！

子どもを中心に、教員の働き方改革を模索しています

「教育長」

文部科学省の2016年度調査では、公立小学校教員の33%、公立中学校教員の57%が「過労死ライン」（時間外勤務月80時間）を超えていたという報告があり、違法性が問われます。

教員が自分の生活時間を取り戻し、余裕のある心で子ども達に接することは「教える」

の基本だと思えます。

教員の働き方改革に

は、教育の質を維持しながら、教員の長時間勤務を是正するという2つの命題があります。現状を改善するため

の対応を考えたとき、

それが子ども達に悪影響を及ぼすことになっては本末転倒です。子ども最優先で、より質の高い教育の提供をお願いします。

そこで、次のことを質問します。

**質問** 町は水曜日を教職員のノー残業デーとしていますが、完全実施されていますか。

**回答** 平成28年度当初から実施していますが、完全実施されていません。管理職が口頭で退校を促したり、教育委員会が電話で時間の順守を促しています。

**質問** 教員が「教える」に集中できる体制になっていますか。過度な業務処理はしていませんか。人員定数は満たしていますか。

**回答** 会議の時間短縮、研修会の回数削減、提出書類の減など、業務量の減に努めています。人員定数は満たしています。

**質問** 部活動の超勤手当の支給はどうなっていますか。外部指導員の起用はされていますか。

**回答** 県の費用で部活動の超勤手当は出ています。子ども達の技術力向上のため、「部活動社会人指導者」を、例えば登龍中では15人のコーチをお願いしています。

**質問** 学校の夏休み中や冬休み中における長期閉庁日制度の

**回答** 年末年始の閉庁日は考えていますか。30年度から8月13日（17日の夏期閉庁日）を考

**質問** 勤務時間の管理はタイムカードで行っていますか。

**回答** 「月別勤務簿」に各自で記入する方法で行っています。タイムカードは検討し

ます。

等の緊急対応に備え携帯電話で対応しています。



熱心に部活動に取り組む部員たち（登龍中）